

(その2)

令和6年度政務活動費収支報告書

会派名 柊の会

1 収 入

政務活動費 1,080,000円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	1,294,386	広島県安芸高田市、広島県呉市 364,152
		東京都、長野県小諸市 235,488
		岐阜県高山市、富山県魚津市 349,368
		沖縄県竹富町、沖縄県石垣市 345,378
研 修 費	35,000	森林・林業・林産業活性化促進十和田市議員連盟（陸前高田市、気仙地方森林組合） 35,000
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	1,329,386	

3 残 額 0円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

調 査 研 究 費

(その3)

政務活動報告書

会派名	柊の会			
活動議員名（取扱議員名）				
戸 来 伝		山 田 洋 子	竹 島 直 樹	
区 分				合計金額
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	364,152 円
9 人件費	10 事務所費	※該当する区分に○印		
期間 (年月日)	令和6年5月7日 ～ 令和6年5月9日			
支出目的 (支出理由)	令和6年5月8日<広島県安芸高田市> ・議会対応と市政運営について 令和6年5月9日<広島県呉市> ・起業家支援プロジェクトに係るクラウドファンディングについて			
用務先 (支払先)	広島県安芸高田市、広島県呉市			
内容及び成果	別紙 視察報告書のとおり			

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。

(その3)

政務活動報告書

会派名	柊の会			
活動議員名（取扱議員名）				
戸 来 伝	山 田 洋 子		竹 島 直 樹	
区 分				合計金額
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	235,488 円
9 人件費	10 事務所費	※該当する区分に○印		
期間 (年月日)	令和6年7月10日 ～ 令和6年7月11日			
支出目的 (支出理由)	令和6年7月10日<参議院議員会館> ・農林水産省関連政策について 令和6年7月11日<長野県小諸市> ・小諸市野生鳥獣商品化施設について			
用務先 (支払先)	参議院議員会館、長野県小諸市			
内容及び成果	別紙 視察報告書のとおり			

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。

(その3)

政務活動報告書

会派名	冬の会			
活動議員名（取扱議員名）				
戸 来 伝		山 田 洋 子		竹 島 直 樹
区 分				合計金額
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	349,368 円
9 人件費	10 事務所費	※該当する区分に○印		
期間 (年月日)	令和6年10月16日 ～ 令和6年10月18日			
支出目的 (支出理由)	令和6年10月17日<岐阜県高山市> ・飛騨地域限定電子通貨さるぼぼコインについて 令和6年10月18日<富山県魚津市> ・ゼロカーボンシティの取組について			
用務先 (支払先)	岐阜県高山市、富山県魚津市			
内容及び成果	別紙 視察報告書のとおり			

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。

(その3)

政務活動報告書

会派名	終の会			
活動議員名（取扱議員名）				
戸 来 伝		山 田 洋 子		竹 島 直 樹
区 分				合計金額
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費	
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	345,378 円
9 人件費	10 事務所費	※該当する区分に○印		
期間 (年月日)	令和7年2月5日 ～ 令和7年2月7日			
支出目的 (支出理由)	令和7年2月6日<沖縄県竹富町> ・低温分解型アップサイクルユニットの取組について 令和7年2月6日<JA おきなわ八重山地区畜産振興センター> ・石垣牛の普及に関する取組やSDGs全体としての取組について			
用務先 (支払先)	沖縄県石垣市			
内容及び成果	別紙 視察報告書のとおり			

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。

研 修 費

(その3)

政務活動報告書

会派名	柊の会			
活動議員名（取扱議員名）				
竹 島 直 樹				
区 分			合計金額	
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費		4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	35,000 円
9 人件費	10 事務所費	※該当する区分に○印		
期間 (年月日)	令和6年8月8日 ～ 令和6年8月9日			
支出目的 (支出理由)	森林・林業・林産業活性化促進十和田市議員連盟 令和6年8月8日<気仙地方森林組合> ・FSC森林管理認証の取組について 令和6年8月9日<岩手県陸前高田市> ・自伐型林業の取組について			
用務先 (支払先)	岩手県気仙郡住田町 岩手県陸前高田市			
内容及び成果	自伐型林業の取組について 場所 陸前高田市役所 陸前高田市の面積は23,194haで森林面積はその80%にあたる18,555haです。森林面積の58%が人工林で、民有林の実に73%が9齢級（41～45年生）で人工林の多くが伐期を迎えています。高い人工林率で木材の低迷が続いたため森林の手入れや資源利用の難しさが指摘されるなど間伐等の森林施業が十分に実施されず、森林資源の持続的な利用への影響が懸念されていました。そこで自伐型林業の普及に向けた取組が平成27年から始まりました。自伐型林業の普及に向けた取組について森林フォーラムを開催し市民に知ってもらい、市民向けの自伐型林業研修を開催しました。1年間に1～3クール研修内容は、チェーンソー研修2日、伐倒・搬出研修2日、作業道研修はミニバックホウを使って2日で合計6日間。参加費無料で市外からの参加もオーケーで始めました。 また森林整備の担い手として地域おこし協力隊を募集し平成28年10月～令和3年4月までに7名を委嘱し、うち3名が市内に定住し、現在は林業や木工業に従事している。地域おこし協力隊卒業生による気仙杉を使った商品開発が行われフレスコボールのラケットを製作しております。 また、市の単独補助事業として間伐材搬出促進事業費補助金や林業担い手対			

策事業費補助金などを活用してもらい自伐型林業を支援した。

(課題)

これまでに大型機械を使わずに間伐された私有林の面積は 38ha になるなど着実に森林整備が進んでいますが、課題としては市内に大径材を加工できる製材所やバイオマス材の受け入れ先がないなどの間伐材の安定的な供給先が確保されていなそうです。

十和田市でも自伐型林業の普及ための研修を開催してはいいのではないかと思います。

FSC 認証林の概要

場所 住田町役場

(1) 認証林の概要

①認証取得年 平成 16 年 (予備審査、平成 14 年 本審査、平成 15 年)

②対象面積 9,266ha (うち町有林 8,084ha 私有林 1,182ha) ※人工林樹種構成：スギ約 7 割、アカマツ 2 割、カラマツ 1 割

③申請取得方法 グループ認証 (FM 認証) グループ構成員：68 名

④取得のきっかけなど 平成 14 年、住田町のプロジェクト「森林・林業日本一のまちづくり」を明示

○町民の環境保全への意識の高揚

○森林認証 (FM 認証)・木材の加工流通施設認証 (COC 認証) の一体的な推進により製品の差別化・ブランド化が図られる。

○木材価格の低迷の中、丸太の流通がスムーズになり環境保全と地域振興が図られる。

(2) 認証林整備の実態

①整備の実態 (R5 年の実績)

・造林 10ha ・下刈 47ha ・除間伐 48ha ・間伐 23ha ・皆伐 3ha ・シカ対策 ha ※住田町から FCS の森事業補助金が出て所有者の負担軽減を行っている。

②木材生産量 (間伐+主伐) 認証林からの生産量 3,952 m³

※ただし「認証材」としての取り扱いではない。

(3) 認証材・認証製品の取り扱い実績

・現在の材・製品の取り扱い実績はゼロ

→かつては森林組合製造の木炭を認証製品として取り扱い

(H19 年度の認証木炭製品売上：480 千円)

認証取得当初は、森林組合としても「認証材」としての丸太を生産・販売

(H18 年度の認証材売上：5,160 千円)

→管内の木材加工業者が COC 認証を更新しなかった事等、「認証材」としての販売機会は現時点でなし。※「認証材」としてではないが、当該森林からの素材生産活動は継続中

	(4) 認証取組の実態や今後の運営方針 ・毎年 FNS 認定認証機関が評価する際に要求される項目（原則 10）を遵守し、責任ある森林管理活動を行っている。少しずつではあるが認証加入申込者も増加している。しかし維持費用もかかっていることから、認証林としての商品化がされていない。 ・今後、森林整備や木材生産を行い責任ある森林経営の原則として林産物や生態系サービスを最高の価値で販売したいと考えている。 （考察） 認証林としての循環をするためには ・世代交代など森林所有者への制度の再周知・普及（山主さん自身が認証林の認識を深める） ・素材生産者のグループ認定の取組（生産行為は実施中、COC 業者としての取り込み） ・認証材・認証製品に対する需要の掘り起こし 認証林を製品化することにより森林所有者への恩返し、PR にもつながるので、十和田市でも取組を進めていくようにした方がいいと感じました。
--	---

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。



領 収 書

柊の会 様

金 35,000円也

森林・林業・林産業活性化促進十和田市議員連盟研修視察への
参加負担金2名分として

令和6年8月1日

森林・林業・林産業活性化促進十和田市議員連盟
会長 石橋 義雄